

兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 20号)

平成30年 4月 9日発行
 兵庫のみ研究所

気圧の通過に伴う降雨・荒天後の調査であったことから、栄養塩は前回(3/30)調査時より上昇していました。窒素は、鋼管漁場や二見・別府の地方寄りの地点で概ね3~7 μg at/L、林崎新漁場中央以東で3 μg at/L台、二見以西の沖筋では概ね1 μg at/L台でした。栄養塩を消費する植物プランクトンは一部で少し確認された程度で、海域全般に少ない状況が続いています。

(水温) 漁場内平均11.4℃。ほぼ平年および昨年並。(塩分) 平均31.38psu。前回調査(31.79)より約0.4psu低い。

(栄養塩、珪藻) 別府周辺の地先から沖筋にかけてキートセロスやニッチアといった小型の珪藻が少し確認されるが、それ以外の海域では前回調査同様、珪藻はほとんど確認されない。窒素は、二見以西の沖筋で1 μg at/L前後と低い状況であるが、岸寄りの地点は陸水等の影響もあり概ね3~7 μg at/L、林崎新漁場においても中央以東から明石海峡部にかけて3 μg at/L台と上昇していた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.4	11.4	11.3	11.5
窒素	2.1	3.6	3.0	2.1
リン	0.21	0.24	0.25	0.27

(3/30)

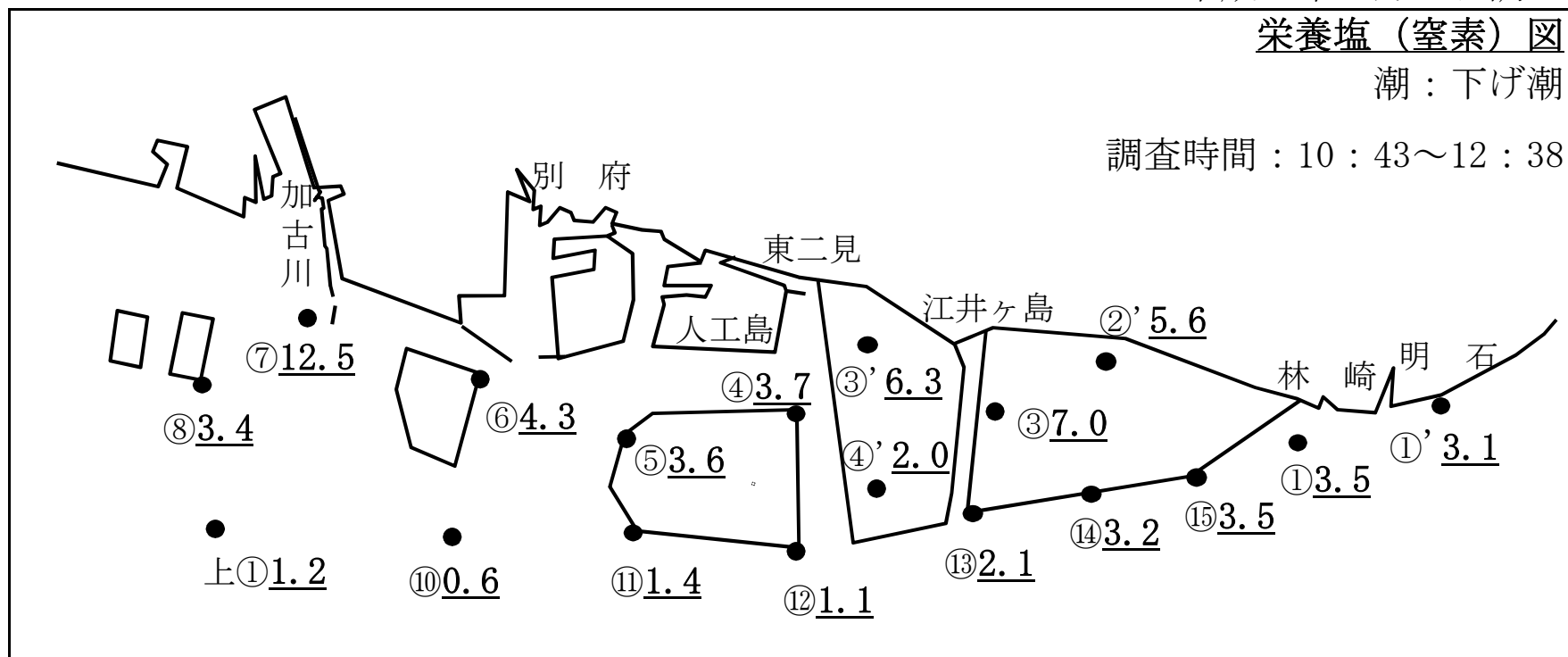
(4/7)

平成30年 4月 9日調査

栄養塩(窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：10：43～12：38



水温図

